

(イラク・シリア人道危機対応プログラム評価 2024、南スーダン難民緊急支援プログラム評価 2024、ミャンマー避難民人道支援プログラム評価 2024)

質疑応答（随時更新していきます）：

| | 質疑 | 回答 |
|---|--|--|
| 1 | 業務趣意書（TOR）の「実施方法と主な業務内容」で、“各プログラムの中の何事業かを調査対象として抽出”するとあります。抽出するのは発注者でしょうか。抽出するのはどのタイミングでしょうか。どのような基準で抽出されるでしょうか。各プログラムで何事業程度、抽出されるでしょうか。 | ドキュメント・レビュー（書類確認）等情報収集、整理頂いた上で、受注者より、このプログラムはどれとどの事業をサンプル的に調査したいなどご提案頂いた上で、発注者（および調査対象事業実施団体）と調整、確認の上で進めていきたいと考えております。タイミング的には、業務開始後 1 カ月以内位を想定しておりますが、業務の進め方（先にどのプログラムを調査して、次にどのプログラムをなのか、あるいは 3 プログラム同時にすすめられるのか）などにもよります。各プログラム 3 事業程度以上はプログラム評価して頂くうえで必要かと考えております。 |
| 2 | 業務趣意書（TOR）の「実施方法と主な業務内容」で、主な評価項目基準は、1) 対応計画の妥当性と有効性、2) プログラムの妥当性と有効性、3) JPF 資金投入の妥当性と有効性、とあります。一方で、「7. 提案書類に関する要件、1. 技術提案書」では、評価グリッドに“OECD/DAC 基準の各項目に対する評価”とあります。軽重を付けつつ、6 項目すべての検証が求められているという理解でよいでしょうか。 | その通りです。OECD/DAC の評価基準・項目は、主に開発事業の評価を想定してデザインされていると思いますが、JPF 助成事業は、基本的には「人道支援」事業ですし、また今回は個別事業（プロジェクト）評価というよりも「プログラム」評価ですので、とりわけその二点を意識されて軽重を付けてご提案下さい。 |
| 3 | 技術提案書の提出言語は日本語としてよいでしょうか。 | はい、日本語でお願い致します。後日報告書を英訳して出す際は、発注者 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 側の予算にて翻訳等致しますので、必要に応じて報告書の製本時・最終化前にご相談・調整させて頂くことになるかと思います。 |
| 4 | 業務スコープ検討の参考のため、貴団体の過去の公募案件（評価調査）の報告書や調達情報（契約金額、選定相手等）が公開されていたらご教示頂けますでしょうか。 | 過去の公募案件は、こちらの「お知らせ」サイト内をご参照下さい。 https://www.japanplatform.org/news/index.html ほぼ（おそらくすべて）海外事業の第三者評価者公募で、近年国内事業者による業務委託事業は行っておりません。 各種報告書は、こちら↓です。 https://www.japanplatform.org/about/report.html 過去の調達情報（契約金額、選定相手等）は公開しておりません。十分情報提供できず、申し訳ございません。 |
| 5 | <p>➤ 渡航について</p> <p>本プログラム評価では現地渡航も一部予定されているものと思料しますが、レベル4の地域は渡航不可との認識で、レベル3の地域（ジュバやレバノン、イラク等）についても状況に応じて渡航の可否は貴法人または外務省と検討する、ということになるものと認識しております。</p> <p>その際、安全管理上の懸念がある地域について、実際に渡航せず遠隔で情報収集することを最終的に受注者側で決定することが可能でしょうか？</p> <p>それとも、貴法人から求められた際には必ず渡航が必要となる、という契約になりますでしょうか？</p> | <p>発注者として受注者調査団の安全管理に関して責任は負いかねますので、あくまでも安全管理上受注者側で責任の負える範囲内でのご対応、ご提案をお願い致します。</p> <p>ご無理のない範囲内で現地あるいは近隣地での視察、聞き取り等を盛り込んだ調査として頂きたいですが、発注者として渡航を強いるような契約は求めませんので、その点についてはご安心下さい。</p> |
| 6 | <p>➤ 業務人月について</p> <p>契約期間について約7カ月、259日間という記載がございましたが、これは業務の従事期間が259人日（1人が259日</p> | 後者の、「259日間のうち、何%従事するかは受注者側で提案」頂くというご理解になります。例えば業務従事者3名が259日間フルタイムで従事頂くとなりますと、それだけで人件費がかなり積み上がると思しますので、ご提案下 |

| | | |
|----|--|---|
| | <p>間従事、あるいは3名が約86日間ずつ従事、など)ということでしょうか？</p> <p>それとも、259日間のうち、何%従事するかは受注者側で提案するということでしょうか？</p> <p>人件費の見積書作成に必要なためお伺いする次第です。</p> | <p>さる業務量・質等、また構成人員の投入頻度・度合等ご考慮の上、ご提案下さい。</p> |
| 7 | <p>➤ 見積書作成について</p> <p>“契約額の総額、内訳（人件費、旅費・交通費、その他経費など）”を見積書にて記載することとなっておりますが、現地渡航の回数や日数に応じて必要となる直接経費が変わるものと思料します。</p> <p>それらもすべて受注者側で提案するという形となりますでしょうか？</p> | <p>ご理解のとおりです。</p> |
| 8 | <p>➤ 財務諸表について</p> <p>財務諸表の提出が求められていますが、必要とされている情報はどの情報となりますでしょうか？</p> <p>（貸借対照表・損益計算書・キャッシュ・フロー計算書のいずれか、あるいは全て、など）</p> | <p>キャッシュ・フロー計算書と貸借対照表を想定しております。必要に応じて、監査報告書等の共有をお願い致しますが、基本的には本受託事業実施期間中に受託業務を遂行し得るに足る体力があると判断・確認できれば、問題ございません。</p> |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |